

ケルビム Cherubim(智天使) ソピア→ソフィア Sophia(G)	緋(あけ)
聖書にあるケルビムについての記述 (主な聖句等)	関連聖句
<p>神は、ケルビム (→ヘブライ語「ケルブ」の複数形) ときらめく剣の炎を命の木に至る道を守るために、エデン (→歓喜、愉悦) の園の東に置かれた。  →剣は、神がイスラエルの敵を打ち倒すために用いた剣である (イザヤ書34:5~6、エレミヤ書47:6~7)。  →炎や剣は度々、神の臨在を象徴し (出エジプト記3:1~6、19:16~18、ヨハネの黙示録1:12~16)、きらめく剣の炎は、稲妻のような形と考えられている。</p>	創世記 03:24
<p>ケルビムは打ち出し作りで一对を作り、贖いの座 (→契約の箱の蓋) の両端に置かれた。  →贖いの座 (憐み・恵みの座) : ヘブライ語で「カポーレト」 (罪を覆う)、神がそこに座し、計り知れない思いやりと憐みをもって民を裁き、民が何をすべきかを告げる場である。</p>	出エジプト記 25:18
<p>一对のケルビムは顔を贖いの座に向けて向かい合い、翼を広げてそれを覆う。</p>	出エジプト記 25:20
<p>神は掟の箱 (→十戒の石板を収めた契約の箱) の上の一对のケルビムの間、すなわち贖いの座の上からモーセに臨み、イスラエルの人々に命じることをことごとくモーセに語られた。</p>	出エジプト記 25:22
<p>仕事に従事する者のうち、心に知恵のある者 (→腕のいい織物師たち) が幕屋を覆う十枚の幕を織り、亜麻のより糸、青、紫、緋色の糸を使って意匠家の描いたケルビムの模様を織り上げた。→緋色 (スカーレットscarlet) : やや黄色みのある鮮やかな赤</p>	出エジプト記 26:01/36:08
<p>モーセは神と語るために臨在の幕屋に入った。掟の箱の上の贖いの座を覆う一对のケルビムの間から、神が語りかけられる声を聞いた。</p>	民数記 07:89
<p>ソロモンはオリーブ材で二体のケルビムを作り、内陣 (→至聖所) に据えた。その高さは十アンマ (→4.5m≒45cm/アンマ (=キュービット) ×10、㊦エゼキエル書:1アンマ≒52.5cm) であった。</p>	列王記上 06:23
<p>ケルビムの翼は一方が五アンマ (→2.25m) で、他方も五アンマ、一方の翼の先から他方の翼の先まで十アンマ (→4.5m) であった。ケルビムは二体とも同形同寸であった。</p>	列王記上 06:24~26
<p>ソロモンはこのケルビムを神殿の奥に置いた。二体のケルビムはそれぞれ翼を広げ、一方のケルビムの翼が一方の壁に触れ、もう一方のケルビムの翼も、もう一方の壁に触れていた。また、それぞれの内側に向かった翼は接し合っていた。彼はケルビムも金で覆った。</p>	列王記 06:27~28
<p>神殿の周囲の壁面はすべて、内側の部屋も外側の部屋も、ケルビムとなつめやしと花模様の浮き彫りが施されていた。</p>	列王記 06:29
<p>内陣の入り口のオリーブ材の二枚の扉にもケルビムとなつめやしと花模様を浮き彫りにして、これを金で覆った。</p>	列王記 06:31~32
<p>外陣 (→聖所) の入り口の糸杉 (=西洋檜、ヒノキ科イトスギ属) 材の二枚の扉にもケルビムとなつめやしと花模様を浮き彫りにし、彫られているところによく合わせて金を張った。</p>	列王記上 06:33~06:35
<p>神殿の備品である青銅 (→銅CuとスズSnの合金) の台車にある横木の間鏡板 (かがみいた) や、その下の車輪には獅子と牛とケルビムが描かれ、上の横木にもそうされていた。</p>	列王記上 07:29/07:36
<p>祭司たちは主の契約の箱を定められた場所、至聖所と言われる神殿の内陣に運び入れ、ケルビムの翼の下に安置した。ケルビムは箱のある場所の上に翼を広げ、その箱と担ぎ棒の上を覆った。</p>	列王記上 08:06~07
<p>神殿の梁、敷居、壁、扉も金で覆い、壁にはケルビムの浮き彫りがつけられた。</p>	歴代誌下 03:07
<p>ソロモンは、至聖所の中に二体のケルビムを鋳物で造り (→出エジプト25:18:打ち出し作り)、それを金で覆った。その二体のケルビムの翼は長さが合わせて二十アンマ (→9m) であった。一方のケルビムの翼の一つは五アンマ (→2.25m) で神殿の壁に触れ、もう一つの翼も五アンマで、もう一方のケルビムの翼に触れていた。</p>	歴代誌下 03:10~11
<p>ケルビムの広げた翼は合わせて二十アンマ (→9m) であった。ケルビムは顔を内側に向けて足で立っていた。</p>	歴代誌 下03:13
<p>ソロモンは、青の織物、深紅の織物、緋の織物、麻の織物で垂れ幕を作ったが、それにもケルビムの縫い取り (→刺繍) を施した。</p>	歴代誌下 03::14
<p>ケルビムは箱のある場所の上に翼を広げ、その箱と担ぎ棒の上を覆っていた。</p>	歴代誌下 05:08

ケルビム Cherubim(智天使) ソピア→ソフィア Sophia (G)

緋(あけ)

ケルビムの翼の羽ばたく音は外庭にまで聞こえ、全能の神が語られる御声のようであった。(エゼキエル書10章：エゼキエルの幻視体験)	エゼキエル書 10:05
四つの車輪が、ケルビムの傍らにあり、一つの車輪が、ひとりのケルビムの傍らに、また一つの車輪が、ひとりのケルビムの傍らにというように、それぞれの傍らにあって、それらの車輪の有様は緑柱石(→ベリル Be、アクアマリン等)のように輝いていた。 →車輪：ケルビム(生き物)と共にどの方面にも速やかに動くことができた。	エゼキエル書 10:09
ケルビムの全身、すなわち、背中、両手、翼と、車輪にはその周囲一面に目がつけられていた。ケルビムの車輪は四つともそうであった。	エゼキエル書 10:12
ケルビムにはそれぞれ四つの顔があり、第一の顔はケルビムの顔(→牛：エゼキエル書1：10)、第二の顔は人間の顔、第三の顔は獅子の顔、そして第四の顔は鷲の顔であった。	エゼキエル書 10:14
ケルビムが移動するとき、車輪もその傍らを進み、ケルビムが翼を広げて地上から上るとき、車輪もその傍らを離れて回ることはなかった。ケルビムが止まると、車輪も止まり、ケルビムが上ると、車輪も共に上った。	エゼキエル書 10:16~10:17a
神殿の内側と外側にも、更に周囲の壁にも内側と外側に、くまなく、ケルビムとなつめやしの模様が刻まれていた。なつめやしは、ケルビムとケルビムの間にあった。ケルビムには二つの顔があって、人間の顔はこちらのなつめやしに向き、獅子の顔はあちらのなつめやしに向いていた。それは神殿の周りにも刻まれていた。床から入り口の鴨居の上まで、神殿の壁にはケルビムとなつめやしがか刻まれていた。(エゼキエル書40~42章：新しい神殿の幻)	エゼキエル書 41:17b~41:20
拝殿の扉には、壁に刻まれているのと同じように、ケルビムとなつめやしがか刻まれていた。(エゼキエル書40~42章：新しい神殿の幻)	エゼキエル書 41:25a
契約の箱の上では、栄光の姿のケルビムが <u>償いの座</u> (→ヘブライのみの表現)を覆っていた。	ヘブライ人への 手紙09:05



図：The Path to the Throne of God by Sarah Peck

【参考】 コーヒーの木の葉がケルビムになった



タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 27 / 聖句等の総数 33250 <ケルビム>45個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : ケルビム]
K 出エジプト記	25:18 打ち出し作りで一对のケルビムを作り、贖いの座の両端、	
K 出エジプト記	25:20 一对のケルビムは顔を贖いの座に向けて向かい合い、翼を広げてそれを覆う。	
K 出エジプト記	37:7 打ち出し作りで、一对の金のケルビムを作り、贖いの座の両端、	
K 出エジプト記	37:8 すなわち一つを一方の端に、もう一つを他の端に付けた。一对のケルビムを贖いの座の一部としてその両端に作った。	
K 列王記上	6:23 ソロモンはオリーブ材で二体のケルビムを作り、内陣に据えた。その高さは十アンマであった。	
K 列王記上	6:24 ケルビムの翼は一方が五アンマで、他方も五アンマ、一方の翼の先から他方の翼の先まで十アンマであった。	
K 列王記上	6:25 もう一体のケルビムも十アンマで、ケルビムは二体とも同形同寸であった。	
K 列王記上	6:26 一方のケルビムは高さが十アンマで、もう一方のケルビムも同様であった。	
K 列王記上	6:27 ソロモンはこのケルビムを神殿の奥に置いた。二体のケルビムはそれぞれ翼を広げ、一方のケルビムの翼が一方の壁に触れ、もう一方のケルビムの翼も、もう一方の壁に触れていた。また、それぞれの内側に向かった翼は接し合っていた。	
K 列王記上	6:28 彼はケルビムも金で覆った。	
K 列王記上	8:7 ケルビムは箱のある場所の上に翼を広げ、その箱と担ぎ棒の上を覆うかたちになった。	
K 歴代誌上	28:18 精錬された金で造られた香をたく祭壇の重量が示されていた。翼を広げて主の契約の箱を覆う金のケルビムの車の設計図も示されていた。	
K 歴代誌下	3:10 彼は、至聖所の中に二体のケルビムを鋳物で造り、それを金で覆った。	
K 歴代誌下	3:11 その二体のケルビムの翼は長さが合わせて二十アンマであった。一方のケルビムの翼の一つは五アンマで神殿の壁に触れ、もう一つの翼も五アンマで、もう一方のケルビムの翼に触れていた。	
K 歴代誌下	3:12 このもう一方のケルビムの翼も、一つは五アンマで神殿の壁に触れ、もう一つの翼も五アンマで、他方のケルビムの翼に触れていた。	
K 歴代誌下	3:13 このケルビムの広げた翼は合わせて二十アンマであった。ケルビムは顔を内側に向けて足で立っていた。	
K 歴代誌下	5:8 ケルビムは箱のある場所の上に翼を広げ、その箱と担ぎ棒の上を覆うかたちになった。	
K エゼキエル書	10:2 主は亜麻布をまとった者に向かって言われた。「ケルビムの下の回転するものの中に入れ。そして、ケルビムの間にある燃える炭火を両手に満たし、それを都の上まき散らせ」と。彼は、わたしの目の前で入って行った。	
K エゼキエル書	10:5 ケルビムの翼の羽ばたく音は外庭にまで聞こえ、全能の神が語られる御声のようであった。	
K エゼキエル書	10:6 主が亜麻布をまとった人に命じて、「火を、回転するものの中、ケルビムの間から取れ」と言われたので、彼は来て、車輪の傍らに立った。	
K エゼキエル書	10:7 すると、ケルビムのひとりが、手をケルビムの間から、ケルビムの間にある火に向かって伸ばして火を取り上げ、亜麻布をまとった者の両手に置いた。その人は火を受け取って、出て行った。	

	タイトル(書名)	<p>章:節 聖句 [検索対象総数 : 27 / 聖句等の総数 33250 &lt;ケルビム&gt;45個]</p> <p>聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : ケルビム]</p>
K	エゼキエル書	10:8 ケルビムには、その翼の下に、人間の手の形が見えていた。
K	エゼキエル書	10:9 わたしが見ていると、四つの車輪が、ケルビムの傍らにあるではないか。一つの子車輪が、ひとりのケルビムの傍らに、また一つの子車輪が、ひとりのケルビムの傍らにというように、それぞれの傍らにあって、それらの車輪の有様は緑柱石のように輝いていた。
K	エゼキエル書	10:12 ケルビムの全身、すなわち、背中、両手、翼と、車輪にはその周囲一面に目がつけられていた。ケルビムの車輪は四つともそうであった。
K	エゼキエル書	10:14 ケルビムにはそれぞれ四つの顔があり、第一の顔はケルビムの顔、第二の顔は人間の顔、第三の顔は獅子の顔、そして第四の顔は鷲の顔であった。
K	エゼキエル書	10:16 ケルビムが移動するとき、車輪もその傍らを進み、ケルビムが翼を広げて地上から上るとき、車輪もその傍らから離れて回ることにはなかった。
K	エゼキエル書	10:17 ケルビムが止まると、車輪も止まり、ケルビムが上ると、車輪も共に上った。生き物の霊がその中であつたからである。

	タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 2 / 聖句等の総数 33250 <ケルブ>1個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : ケルブ]
K	詩編	18:10 主は天を傾けて降り／密雲を足もとに従え	
K	詩編	18:11 ケルブを駆って飛び／風の翼に乗って行かれる。	

	タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 67 / 聖句等の総数 33250 <ケルビム>90個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : ケルビム]
K	創世記	3:24 こうしてアダムを追放し、命の木に至る道を守るために、エデンの園の東にケルビムと、きらめく剣の炎を置かれた。	
K	出エジプト記	25:18 打ち出し作りで一对のケルビムを作り、贖いの座の両端、	
K	出エジプト記	25:19 すなわち、一つを一方の端に、もう一つを他の端に付けなさい。一对のケルビムを贖いの座の一部としてその両端に作る。	
K	出エジプト記	25:20 一对のケルビムは顔を贖いの座に向けて向かい合い、翼を広げてそれを覆う。	
K	出エジプト記	25:22 わたしは掟の箱の上の一对のケルビムの間、すなわち贖いの座の上からあなたに臨み、わたしがイスラエルの人々に命じることをことごとくあなたに語る。	
K	出エジプト記	26:1 次に、幕屋を覆う十枚の幕を織りなさい。亜麻のより糸、青、紫、緋色の糸を使って意匠家の描いたケルビムの模様を織り上げなさい。	
K	出エジプト記	26:31 次に、青、紫、緋色の毛糸、および亜麻のより糸を使って、意匠家の描いたケルビムの模様の垂れ幕を作り、	
K	出エジプト記	36:8 仕事に従事する者のうち、心に知恵のある者はすべて、幕屋に用いる十枚の幕を織った。すなわち、亜麻のより糸、青、紫、緋色の毛糸を使って意匠家の描いたケルビムの模様を織り上げた。	
K	出エジプト記	36:35 次に、青、紫、緋色の毛糸、および亜麻のより糸を使って、意匠家の描いたケルビムの模様の垂れ幕を作り、	
K	出エジプト記	37:7 打ち出し作りで、一对の金のケルビムを作り、贖いの座の両端、	
K	出エジプト記	37:8 すなわち一つを一方の端に、もう一つを他の端に付けた。一对のケルビムを贖いの座の一部としてその両端に作った。	
K	出エジプト記	37:9 一对のケルビムは向かい合い、顔を贖いの座に向け、翼を広げてこれを覆った。	
K	民数記	7:89 モーセは神と語るために臨在の幕屋に入った。掟の箱の上の贖いの座を覆う一对のケルビムの間から、神が語りかけられる声を聞いた。神はモーセに語りかけられた。	
K	サムエル記上	4:4 兵士たちはシロに人をやって、ケルビムの上に座しておられる万軍の主の契約の箱を、そこから担いで来させた。エリの二人の息子ホフニとピネハスも神の契約の箱に従って来た。	
K	サムエル記下	6:2 ダビデは彼に従うすべての兵士と共にバアレ・ユダから出発した。それは、ケルビムの上に座す万軍の主の御名によってその名を呼ばれる神の箱をそこから運び上げるためであった。	
K	サムエル記下	22:11 ケルビムを駆って飛び／風の翼に乗って現れる。	
K	列王記上	6:23 ソロモンはオリーブ材で二体のケルビムを作り、内陣に据えた。その高さは十アンマであった。	
K	列王記上	6:24 ケルビムの翼は一方が五アンマで、他方も五アンマ、一方の翼の先から他方の翼の先まで十アンマであった。	
K	列王記上	6:25 もう一体のケルビムも十アンマで、ケルビムは二体とも同形同寸であった。	
K	列王記上	6:26 一方のケルビムは高さが十アンマで、もう一方のケルビムも同様であった。	
K	列王記上	6:27 ソロモンはこのケルビムを神殿の奥に置いた。二体のケルビムはそれぞれ翼を広げ、一方のケルビムの翼が一方の壁に触れ、もう一方のケルビムの翼も、もう一方の壁に触れていた。また、それぞれの内側に向かった翼は接し合っていた。	

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 67 / 聖句等の総数 33250 <ケルビム>90個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : ケルビム]
K 列王記上	6:28 彼はケルビムも金で覆った。	
K 列王記上	6:29 神殿の周囲の壁面はすべて、内側の部屋も外側の部屋も、ケルビムとなつめやしと花模様の浮き彫りが施されていた。	
K 列王記上	6:32 そのオリーブ材の二枚の扉にもケルビムとなつめやしと花模様を浮き彫りにして、これを金で覆った。ケルビムとなつめやしの上にも金を張った。	
K 列王記上	6:35 そこにもケルビムとなつめやしと花模様を浮き彫りにし、彫られているところによく合わせて金を張った。	
K 列王記上	7:29 その横木の間鏡板には獅子と牛とケルビムが描かれ、上の横木にもそうされていた。また獅子と牛の下には唐草模様が彫り込まれていた。	
K 列王記上	7:36 その支柱の表面と鏡板にはケルビムと獅子となつめやしが、そのそれぞれに空間があれば周りに唐草模様が彫り込まれた。	
K 列王記上	8:6 祭司たちは主の契約の箱を定められた場所、至聖所と言われる神殿の内陣に運び入れ、ケルビムの翼の下に安置した。	
K 列王記上	8:7 ケルビムは箱のある場所の上に翼を広げ、その箱と担ぎ棒の上を覆うかたちになった。	
K 列王記下	19:15 主の前で祈った。「ケルビムの上に座しておられるイスラエルの神、主よ。あなただけが地上のすべての王国の神であり、あなたこそ天と地をお造りになった方です。	
K 歴代誌上	13:6 ダビデはすべてのイスラエル人と共にバアラト、つまりユダのキルヤト・エアリムに上って行った。それは、ケルビムの上に座しておられる主なる神の箱、その御名によって呼ばれる箱をそこから運び上げるためであった。	
K 歴代誌上	28:18 精錬された金で造られた香をたく祭壇の重量が示されていた。翼を広げて主の契約の箱を覆う金のケルビムの車の設計図も示されていた。	
K 歴代誌下	3:7 神殿の梁、敷居、壁、扉も金で覆い、壁にはケルビムの浮き彫りをつけた。	
K 歴代誌下	3:10 彼は、至聖所の中に二体のケルビムを鋳物で造り、それを金で覆った。	
K 歴代誌下	3:11 その二体のケルビムの翼は長さが合わせて二十アンマであった。一方のケルビムの翼の一つは五アンマで神殿の壁に触れ、もう一つの翼も五アンマで、もう一方のケルビムの翼に触れていた。	
K 歴代誌下	3:12 このもう一方のケルビムの翼も、一つは五アンマで神殿の壁に触れ、もう一つの翼も五アンマで、他方のケルビムの翼に触れていた。	
K 歴代誌下	3:13 このケルビムの広げた翼は合わせて二十アンマであった。ケルビムは顔を内側に向けて足で立っていた。	
K 歴代誌下	3:14 彼は、青の織物、深紅の織物、緋の織物、麻の織物で垂れ幕を作ったが、それにもケルビムの縫い取りを施した。	
K 歴代誌下	5:7 祭司たちは主の契約の箱を定められた場所、至聖所といわれる神殿の内陣に運び入れ、ケルビムの翼の下に安置した。	
K 歴代誌下	5:8 ケルビムは箱のある場所の上に翼を広げ、その箱と担ぎ棒の上を覆うかたちになった。	
K 詩編	80:2 イスラエルを養う方／ヨセフを羊の群れのように導かれる方よ／御耳を傾けてください。ケルビムの上に座し、顕現してください	
K 詩編	99:1 主こそ王。諸国の民よ、おののけ。主はケルビムの上に御座を置かれる。地よ、震えよ。	



タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 67 / 聖句等の総数 33250 <ケルビム>90個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : ケルビム]
K イザヤ書	37:16 「ケルビムの上に座しておられるイスラエルの神、万軍の主よ。あなただけが地上のすべての王国の神であり、あなたこそ天と地をお造りになった方です。	
K エゼキエル書	9:3 すると、ケルビムの上にとどまっていたイスラエルの神の栄光はそこから昇って、神殿の敷居の方に向かい、亜麻布をまとい、腰に書記の筆入れを着けた者に呼びかけた。	
K エゼキエル書	10:1 わたしが見ていると、ケルビムの頭上の大空の上に、サファイアの石のようで、形は王座のように見えるものがあるのではないか。それはケルビムの上に見えた。	
K エゼキエル書	10:2 主は亜麻布をまとった者に向かって言われた。「ケルビムの下の回転するものの中に入れ。そして、ケルビムの間にある燃える炭火を両手に満たし、それを都の上にかき散らせ」と。彼は、わたしの目の前で入って行った。	
K エゼキエル書	10:3 その人が入って行ったとき、ケルビムは神殿の南側に止まっており、雲が中庭を満たしていた。	
K エゼキエル書	10:4 主の栄光はケルビムの上から立ち上がり、神殿の敷居に向かった。神殿は雲で満たされ、庭は主の栄光の輝きで満たされた。	
K エゼキエル書	10:5 ケルビムの翼の羽ばたく音は外庭にまで聞こえ、全能の神が語られる御声のようであった。	
K エゼキエル書	10:6 主が亜麻布をまとった人に命じて、「火を、回転するものの中、ケルビムの間から取れ」と言われたので、彼は来て、車輪の傍らに立った。	
K エゼキエル書	10:7 すると、ケルビムのひとりが、手をケルビムの間から、ケルビムの間にある火に向かって伸ばして火を取り上げ、亜麻布をまとった者の両手に置いた。その人は火を受け取って、出て行った。	
K エゼキエル書	10:8 ケルビムには、その翼の下に、人間の手の形が見えていた。	
K エゼキエル書	10:9 わたしが見ていると、四つの車輪が、ケルビムの傍らにあるのではないか。一つの子車輪が、ひとりのケルビムの傍らに、また一つの子車輪が、ひとりのケルビムの傍らにというように、それぞれの傍らにあって、それらの車輪の有様は緑柱石のように輝いていた。	
K エゼキエル書	10:11 それらが移動するときは、四つの方向に進み、移動するときに、向きを変えることはなかった。先頭のケルビムが向かうところに他のものも従って進み、向きを変えなかったからである。	
K エゼキエル書	10:12 ケルビムの全身、すなわち、背中、両手、翼と、車輪にはその周囲一面に目がつけられていた。ケルビムの車輪は四つともそうであった。	
K エゼキエル書	10:14 ケルビムにはそれぞれ四つの顔があり、第一の顔はケルビムの顔、第二の顔は人間の顔、第三の顔は獅子の顔、そして第四の顔は鷲の顔であった。	
K エゼキエル書	10:15 ケルビムは上った。これがケバル川のほとりでわたしが見たあの生き物である。	
K エゼキエル書	10:16 ケルビムが移動するとき、車輪もその傍らを進み、ケルビムが翼を広げて地上から上るとき、車輪もその傍らを離れて回ることにはなかった。	
K エゼキエル書	10:17 ケルビムが止まると、車輪も止まり、ケルビムが上ると、車輪も共に上った。生き物の霊がその中であつたからである。	
K エゼキエル書	10:18 主の栄光は神殿の敷居の上から出て、ケルビムの上にとどまった。	
K エゼキエル書	10:19 ケルビムは翼を広げ、傍らの車輪と共に出て行くとき、わたしの目の前で地から上って行き、主の神殿の東の門の入り口で止まった。イスラエルの神の栄光は高くその上にあつた。	
K エゼキエル書	10:20 これがケバル川の河畔で、わたしがイスラエルの神のもとにいるのを見たあの生き物である。わたしは、それがケルビムであることを知った。	
K エゼキエル書	11:22 そのとき、ケルビムは翼を広げ、車輪もまた共に行った。イスラエルの神の栄光は高くその上にあつた。	



	タイトル(書名)	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : ケルビム] 章:節 聖句 [検索対象総数 : 67 / 聖句等の総数 33250 <ケルビム>90個]
K	エゼキエル書	41:18 ケルビムとなつめやしの模様が刻まれていた。なつめやしは、ケルビムとケルビムの間にあった。ケルビムには二つの顔があつて、
K	エゼキエル書	41:20 床から入り口の鴨居の上まで、神殿の壁にはケルビムとなつめやしがかまかれていた。
K	エゼキエル書	41:25 それらの拜殿の扉には、壁に刻まれているのと同じように、ケルビムとなつめやしがかまかれていた。廊の正面の外側には、木製の格子がついていた。
S	ヘブライ人への手紙	9:5 また、箱の上では、栄光の姿のケルビムが償いの座を覆っていました。こういうことについては、今はいちいち語ることはできません。